



## 地震が起こる前に、イヌがほえたり、カラスがさわいだりすることがあるの

### そのようなこともある

大きな地震が起きたあとで、動物が地震の前に、いつもとはちがう、異常な行動をとった、という話をよく耳にします。

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)の直前に、イヌがいつせいにほえた、ネコがはね回って家を飛び出した、カラスが大さわぎをした、ネズミが天井裏をかけ回った、冬眠中のカメが起き出した、というような報告が、たくさんありました。

動物の中には、コウモリのように、暗やみの中を自由に飛び回って、昆虫などのえさをつかまえたりできる、能力をもった動物もいるので、地震の前ぶれをつかむ動物がいても不思議なことではありません。

### 地震の前ぶれと動物の行動

地震が起こる前に、動物が、ふだんとちがう行動をとることは、世界中で知られています。このような行動を「異常行動」、といっていますが、動物にとっては、異常な行動ではなく、身にせまる危険を感じとって、自然にふるまっている姿なのです。

世界の国々で地震の前に、ふだんとちがう、行動をとった動物には、いろいろな種類があります。イヌ、ネコ、ネズミ、カラス、ワニ、ヘビ、魚、昆虫、ミミズなどです。

イヌ、ネコ、カラスなどが、地震が起こる前に、ふだんとちがった、行動をとる話が多いのは、わたしたちの、身近にいる動物だからです。

しかし、動物のいろいろな行動の中から、地震の前ぶれに結びつく行動を、見つけ出すことはむずかしいのです。(監修・国司 真)

